

全労金2022春季生活闘争ニュース・第33号

～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～

《合意速報No. 9》

セントラル労組が事業体との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

セントラル労組は、3月17日13時から、事業体と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

	要 求				回 答			
	正職員	準職員	サポート職員	再雇用 嘱託職員	正職員	準職員	サポート職員	再雇用 嘱託職員
基本賃金	能力1等級4,000円 能力5等級1,000円 BW6等級3,000円等	500～1,500円		Cコース 時給50円	能力1等級4,000円 能力5等級500円 BW6等級1,500円等	400～600円		要求通り
一時金	4.5	4.5	4.0	—	4.5	4.5	4.0	—
昨年実績	4.5	4.5	4.0	—	4.5	4.5	4.0	—
安定雇用	無期転換	(実現)		—	—	(実現)		—
	登用制度	(実現)		—	—	(実現)		—
最低賃金	時間額1,100円、日額8,070円、 月額169,500円への引き上げ				要求通り 時間額1,100円、日額8,070円、月額169,500円			
雇用環境	私傷病休職	(実現)		—	—	(実現)		—
	育児時短	(小学校3年生まで)		—	(小学校3年生まで)			
	ハラスメント	(実現)		—	(実現)			
単組独自要求	時間外労働免除・制限の可能期間延長 積立休暇制度の拡充			—	時間外労働免除・制限の期間延長：要求通り 積立休暇制度の拡充：継続協議			—
関連会社	事業体に準ずる				事業体に準ずる			

《金庫の発言概要》

- 2月22日の要求提出以降、要求主旨を経営として真摯に受け止めて検討のうえ、交渉を重ねてきた。
- 基本賃金については、昨今の賃上げの社会的な広がり、物価動向から、調査役・代理職層、及び、嘱託職員の賃金水準の引き上げが必要との組合の主旨を理解した。現行の賃金表との整合性を考慮し、一定の引き上げを行った。
- この間、真摯な協議を重ね、統一回答期限日までに合意に至ったことは喜ばしいことである。今回の要求項目でも継続協議となったものがあるが、それに限らず、今後もよりよい職場、働きやすい職場、誇りをもって働ける職場を作るために労使で話し合っていきたい。課題は様々あるが、解決のために率直に意見交換を行って

いきたい。

《蒲原闘争委員長の発言概要》

- 2月22日の要求書提出にあたって、新型コロナウイルスの影響が発生して以降のこの2年間、私たち中央機関の職員は感染防止対策を徹底しながら、懸命に業務に邁進してきたことに対する労い、そして、今後に向けた期待も含めた経営陣からのメッセージを組合員に伝え、適切な労使関係のもとで前向きに次年度を迎えるための機会にしたいということを申し上げた。
- 今回の交渉では早い段階から前向きな姿勢が示されたことで、事業者として今年度の組合員一人ひとりの頑張りを評価し、2022年度を前向きに進んでいくために判断されたものだと捉えている。
- 私たちの掲げた要求項目について、一部の項目について実現しなかったことは率直に残念な思いもある。しかし、基本賃金の部分に関しては、組合の要求に対して応えられる限りの回答をという考えや、積立休暇制度の拡充とそれに伴う申入事項に対しても主旨を理解し、早期に協議に臨んでいく姿勢が示されたことを労働組合としてもきちんと受け止め、組合員とも共有したい。
- 4月から新年度がスタートするが、2022年度はろうきんビジョンの実現に向けた集大成となる「第Ⅲ期中期経営計画」の2年目であり、すべての勤労者に寄り添い、最も身近で信頼される金融機関をめざすという労働金庫の使命や社会的役割の発揮が今こそ求められていると考えている。
- 最後になるが、2022年度も引き続き新型コロナウイルスの影響が続く中での業務運営が継続される。“ろうきん”で働く職員とその家族の幸せを実現することによって、労金業態のさらなる発展につなげていくという認識を労使で共有し、事業者からの回答書に対して、セントラル労組闘争委員会として基本合意を表明する。

単組は、満額回答には至らない点もあったが、①賃上げの情勢について労使で認識を一致させたうえで賃上げに繋がられたこと、②嘱託等職員の賃金改善については、同一労働同一賃金の観点で今後の人事制度協議で整理していく考えが示されたこと、③積立休暇については、申入事項とともに早期に協議を進めることが確認できたこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（7単組／3月17日18時30分現在）

沖縄・北海道・長野・近畿(金庫)・近畿(関連)・新潟・東北(金庫)・東北(関連)
セントラル

以 上